5款　労　働　費　　1項　労　働　諸　費　　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
労働諸費（産業雇用政策課）	1　ダイバーワークスタイル推進事業費	1,080	県　720	－	360
	（説　明） 女性活躍の推進や障がい者雇用、外国人雇用など、多様な働き方ができる職場づくりに取り組む企業を「ダイバーワークスタイル企業」や「ゴールド企業」として認証し、誰もが働きやすく活躍できる職場づくりを促進したほか、認証企業の取り組みを公表することで職場の魅力を広く発信した。 また、男性の育児休業に関するセミナーを開催し、育児参画に対する理解促進を図った。加えて、経営者や管理職等に対し、仕事と家庭の両立を支援する職場づくりの重要性を周知することで、男女ともに働きやすい職場環境の整備に向けた意識醸成につなげた。 ○ダイバーワークスタイル企業認証事業 ・ダイバーワークスタイル企業数　4社 ・ダイバーワークスタイルゴールド企業数　10社 ○男性育休推進セミナー ・当事者向け「父親学級」　4回 ・経営層・管理職向け「男性育休推進管理職研修」　1回				
	2　女性活躍推進セミナー開催費	1,983	国　991	－	992
	（説　明） 就職や職場復帰に不安を抱える女性や仕事と育児との両立を目指す女性を対象にデジタルスキルセミナーを開催し、就職や再就職、在宅ワーク等の多様な働き方の実現に向けた支援を行った。 なお、応募者多数のため参加できなかった方へは、セミナー映像のアーカイブ配信を行った。 ○Ｗｅｂスキルアップセミナー ・参加者数　20人 ・内　容 ｌｅｓｓｏｎ1　「多様な働き方入門」 ｌｅｓｓｏｎ2　「ＳＮＳマーケティング入門」 ｌｅｓｓｏｎ3　「Ｃａｎｖａ×ＳＮＳマーケティング実践」 ｌｅｓｓｏｎ4　「ＳＮＳ運用力強化」 アドバンスプログラム　「伝わるＳＮＳ動画　応用編」（希望者のみ受講）				

6款　農林水産業費　　1項　農　業　費　　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
農業振興費（農業企画課）	1　農地中間管理事業費	2,195	－	受託事業収入 2,195	－
	（説　明） 農地の管理効率を向上させ持続可能な農業生産を促進するため、所有者から農地を借受け、担い手に貸し付ける農地中間管理機構と連携・協力して担い手への農地集積・集約化を支援した。 ○受託業務 ・筆数、面積　1,229筆、60ha ・貸付件数（機構→借受者）　224件 ・借入件数（貸付者→機構）　638件				
	2　スマート農業実装支援事業費	19,851	－	基金繰入金 19,851	－
	（説　明） スマート農機具の導入を支援し、農作業の効率化及び省力化、並びに生産性の向上を図った。 ○補助件数　30件				
	3　米粉等利用拡大支援事業費	452	－	－	452
	（説　明） 国内で唯一自給可能な穀物である米を原料とした米粉の利用拡大のため、米粉等を活用した商品の開発及び生産を支援した。 ○交付件数 ・商品開発支援　5件 ・原料購入支援　4件				
	4　鳥獣被害対策強化事業費	56,424	県　11,594	雑入　51	44,779
	（説　明） 関係機関との連携のもと、サル、イノシシ、カラスなどによる農作物の被害軽減を目的とする有害鳥獣被害対策事業を推進し、農家経営の安定を図った。 ○有害鳥獣被害対策協議会事業　19,921 ○イノシシ捕獲対策事業　18,722 ・有害捕獲・狩猟捕獲　814頭 ・専門員捕獲　76頭 ・県指定管理捕獲（県事業）　623頭 ○侵入防止柵整備事業　4,653 ・設置件数　102件（新規27件、補修75件） ・施工内容　3,296m ○その他　13,128				

6款　農林水産業費　　1項　農　　業　　費　　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
（農業振興課）	5　ツキノワグマ被害等特別対策事業費	11,688	県　6,345	－	5,343
	（説　明） ツキノワグマによる被害を防止するため、地域住民が主体となって行う取組を支援したほか、一般向け、小学生向けに「ツキノワグマ防災教室」を開催した。 また、捕獲したツキノワグマにＧＰＳ首輪発信器を装着し、行動パターン等の調査分析を行った。 さらに、緊急銃猟の実施に必要な資機材の購入やツキノワグマの日常生活圏への出没防止対策等を実施することにより、対策を強化した。 ○野生鳥獣被害防止地域づくり事業　1件　2,499 ○ツキノワグマ防災教室　93 ・一般向け　1回 ・小学生向け　7回 ○ツキノワグマ用ＧＰＳ首輪発信器　4個　959 ○緊急銃猟資機材購入等　4,117 ○出没防止対策事業（忌避音響装置設置等）　3,678 ○その他　342				
	6　中山間地域等直接支払交付金事業費	70,422	県　49,188	－	21,234
	（説　明） 遊休農地の発生防止及び農用地の保全と多面的機能の確保を図るため、中山間地域等で農業生産活動等を行う農業者に対し交付金を交付した。 ○交付件数　57件				
	7　環境保全型農業直接支払交付金事業費	2,384	県　1,801	－	583
（農業企画課）	（説　明） 地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に対して交付金を交付し、環境保全型農業の促進を図った。 ○交付件数　3件 ○対象面積　27.5ha				
	8　新規就農者育成総合対策事業費	130,968	県　130,968	－	－
	（説　明） 次世代を担う農業者の就農意欲の喚起と営農定着、地域農業の活性化を図るため、原則50歳未満の独立・自営就農者等に対して、経営確立・発展を支援する補助金を交付した。 ○農業次世代人材投資事業　4件　2,417 ○経営開始資金（経営開始支援資金）　41件　65,250 ○経営発展支援事業（初期投資促進事業）　16件　62,778 ○推進事業　523				

6款　農林水産業費　　1項　農　　業　　費　　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
（農業振興課）	9　あぐりっしゅサポート事業費	9,899	国　247	－	9,652
	（説　明） 農業の担い手を確保・育成するため、兼業農家や親元就農者など多様な形態の新規就農者に対して、支援をパッケージ化し、就農相談から営農定着までの各ステップで必要なサポートを提供した。 ○フレッシュ農家応援資金　21件　9,100 ○農業メンター事業　2件　80 ○農業体験事業　4件　18 ○農地確保支援金　9件　206 ○その他　495				
	10　四季の里整備費	87,679	－	債　71,500	16,179
	（説　明） 来園者の安全かつ快適な施設利用を図るため、改修工事、点検を実施した。 ○受変電設備改修工事　5,599 ○接地改修工事　1,427 ○駐車場拡張工事（繰越明許費）　73,900 ○その他　6,753				
	11　ふくしまの農産物魅力アップ事業費	4,803	－	－	4,803
	（説　明） 重点消費地や交流都市等へのトップセールスのほか、Ｆ－ＢＯＸの活用推進や消費者用パンフレット作成・配布などを通じて、本市産農産物のＰＲと消費拡大を図った。 ○トップセールス推進事業 ・首都圏トップセールス 実施月日　7月30日～31日 実施場所　東京都中央卸売市場淀橋市場、荒川区、都内量販店 ＰＲ品目　モモ ・阪神地区トップセールス 実施月日　8月21日～23日 実施場所　大阪市中央卸売市場、大果大阪青果、神戸中央青果、量販店 ＰＲ品目　モモ、ナシ ○Ｆ－ＢＯＸ活用推進事業 ・作成数　贈答用2種　4,500枚 ○消費者向け農産物パンフレットの作成 ・作成数　12,000部				

6款　農林水産業費　　1項　農　　業　　費　　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
（農業企画課）	12 福島駅前軽トラ市開催事業費	5,890	－	－	5,890
	（説　明） 福島駅前通り及びＷｅｂにおいて軽トラ市を開催し、消費者へ市産農産物や6次化商品等の安全性、美味しさを伝えるとともに、販売促進及び販路拡大を図った。 ○福島駅前軽トラ市 ・開催月日　8月31日、9月28日、10月26日、11月30日 ・会　場　福島駅前通り（歩行者天国） ・来場者数　15,460人（8月:4,103人、9月:4,513人、10月:2,455人、11月:4,389人） ○Ｗｅｂ福島駅前軽トラ市 ・開催期間　4月1日～8年3月31日 ・出店者数　34店舗 ・アクセス数　28,530件				
	13 地域でつくる農林業振興基金事業費	38,490	－	基金繰入金 38,490	－
	（説　明） 農業者団体等から提案のあった取組を支援し、農林業における地域の課題解決を図った。 ○補助件数　22件				
（農業振興課）	14 脱炭素・循環型農業支援事業費	1,744	－	基金繰入金 1,662	82
	（説　明） 炭化器を活用して果樹剪定枝等を炭に変え、保肥力を高める土壌改良材として活用することで、果樹剪定枝等の有効活用の推進を図った。 また、果樹剪定枝の提供者と利用者を本市が仲介し、マッチングすることで野焼きの未然防止による温室効果ガスの排出抑制を図った。 ○炭々まで枝活用推進事業（炭化器購入費用への補助）　1,662 ・交付件数　35件 ○果樹剪定枝まきストーブ等マッチング事業　82 ・申込者数　134人（提供者46人・利用者88人）				

6款　農林水産業費　　1項　農　　業　　費　　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
（農業振興課）	15 気候変動適応型農業支援事業費	9,517	－	基金繰入金 1,992	7,525
	（説　明） 気候変動による大雨や猛暑などの極端化する気象やそれに伴う病害虫のまん延に対して、農作物への被害低減や収量確保につながる取組を支援し、生産者の経営安定と農産物の品質維持を図った。 ○モモせん孔細菌病等防除事業（防除薬剤購入にかかる費用への補助）　5,000 ・交付件数　1件 ・対象農家数　977戸 ・対象面積　639ha ○雨よけハウス等導入支援事業（品質保持のための果樹栽培施設整備にかかる費用への補助）　2,525 ・交付件数　2件 ・対象農家数　2戸 ・対象面積　30a ○農地渇水・高温対策支援事業（水源確保のための井戸掘削等にかかる費用への補助）　1,992 ・交付件数　4件 ・対象農家数　4戸 ・対象面積　256a				
（観光交流推進室）	16 ふくしまスカイパーク費	35,989	－	使用料 6,410 債 11,100	18,479
	（説　明） 滑走路舗装の亀裂解消と雨水による浸食の予防を図る大規模改修を実施し、安全な利用環境を整備した。 ○年間来訪者数　25,319人（航空関係者、一般見学者等） ○滑走路改修工事等　12,419 ○管理運営　23,570				
（農業振興課）	17 果実消費拡大事業費（復興事業費）	7,930	－	－	7,930
	（説　明） 福島県くだもの消費拡大委員会の構成団体と連携し、首都圏や阪神地区等の重点消費地において、ミスピーチキャンペーンクルーによる福島産くだもののセールスを展開した。 また、県内外で広くＰＲ活動を実施し、福島産くだものの消費拡大と風評の払拭を図った。 ○ＰＲ活動実施状況 ・日数　137日（モモ69日、ナシ9日、リンゴ7日ほか） ○ホームページ・ＳＮＳを活用したＰＲ ホームページやＩｎｓｔａｇｒａｍを活用し、旬のくだものやイベント、キャンペーン情報等を発信し、福島産くだもののファン獲得、消費拡大を図った。				

6款　農林水産業費　　1項　農　　業　　費　　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
	18 放射性物質吸収抑制対策事業費（復興事業費）	15,368	県 15,368	－	－
	（説　明） 東日本大震災後初めて水稲を作付けするほ場を持つ営農者に対して吸収抑制資材を支給し、放射性物質の移行抑制を図った。 また、果樹の改植により、果実への放射性物質の移行抑制を図った。 ○実施面積 15,150 ・水　稲　1.15ha ・果樹の改植　6.85ha ○管理台帳の整備 218				
	19 地域の恵み安全対策協議会運営補助事業費（復興事業費）	4,091	－	－	4,091
	（説　明） 園芸品目の放射性物質検査及び米のモニタリング検査（県実施）を推進する「福島市地域の恵み安全対策協議会」に対し補助金を交付し、本市産農産物の安全性の確保と消費者の信頼回復を図った。 ○園芸品目検査 ・検査品目　165品目 ・検査件数　5,906件				
畜産業費（農業振興課）	1 酪農振興対策事業費（復興事業費）	1,175	－	－	1,175
	（説　明） 原子力災害の影響により様々な負担を強いられている畜産農家を支援するため、資質の高い子牛の生産により優良な後継牛の確保などを推進し、畜産振興を図った。 ○受精卵移植推進事業 225 ○性判別優良精液推進事業 950				
	2 放射性物質吸収抑制対策事業費（復興事業費）	3,893	県 3,893	－	－
	（説　明） 吸収抑制資材を農家へ支給し、牧草への放射性物質移行の抑制を図った。 ○実施面積 ・カリ肥料の散布　70.71ha				

6款　農林水産業費　　1項　農　　業　　費　　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
農地費（農林整備課）	1 水路・ため池等施設改修費	28,691	－	基金繰入金 10,680	18,011
	（説　明） 農業用施設を整備し、農業経営の安定を図った。 ○水路工　渡利上岩谷地区　ほか　12地区 ○道路工　笹木野日井古屋北地区 ○ため池　飯坂町湯野西小手屋地区				
	2 農村地域防災減災事業費	29,208	県 21,000	債 4,800	3,408
	（説　明） 堰改修に伴う河川法水利権更新を行うための資料作成を行った。 堤体からの漏水が確認されている防災重点農業用ため池について、県営事業にて堤体改修工事を行った。 ○柳田堰地区水利権更新資料作成業務委託 8,086 ○県営土地改良事業に係る市町村負担金（高谷沼地区　ため池等整備事業） 3,072 ○県営土地改良事業に係る市町村負担金（舘町沼地区　ため池等整備事業） 1,008 ○特別賦課金（高谷沼地区　農地防災ため池整備事業） 29 ○板山沼実施計画策定業務委託（繰越明許費） 17,013				
	3 農道橋梁維持改修費	399	－	－	399
	（説　明） 「福島市農道施設長寿命化計画」（個別施設計画）に基づき、農道橋梁台帳の作成を行った。 ○農道橋梁台帳作成　6橋 212 ○農道橋梁台帳システムデータ作成　3橋 187				
	4 農業施設災害防止緊急対策事業費	121,711	－	債 121,600	111
	（説　明） 老朽化等により施設の劣化が著しい普通河川について、予防保全の考え方に基づき施設の保全を図るため、農業水利施設の整備を行った。 ○茂田川支流境界復元測量業務委託 944 ○茂田川支流排水路整備工事 83,551 ○茂田川支流水路改修用地及び工事用作業ヤード敷地使用料 1,162 ○茂田川支流排水路整備工事に伴う電気通信線路移転工事の費用負担 3,252 ○松川町関谷柴平排水路整備工事 32,802				

6款　農林水産業費　　1項　農　　業　　費

（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
	5　田んぼダム事業費	24,427	県　15,939	基金繰入金 8,000	488
	（説　明） 田んぼが有する雨水貯留機能を活用し、大雨時に洪水被害を軽減させるべく田んぼダムの取組を実施した。また、山口地区に加え、新たに信夫地区への整備を行った。 ○信夫地区 田んぼダム用排水桝設置工事 10,461 ○山口中入地区　ほ場整備・田んぼダム用排水桝設置工事 13,905 ○特別賦課金 61				
	6　多面的機能支払対策事業費	144,324	県　108,777	－	35,547
	（説　明） 農業・農村が有する多面的機能が適切に発揮されるよう、地域ぐるみで農地・農業用水路等の地域資源を保全管理する43組織を支援した。				
	7　地籍調査事業費	11,919	県　3,750	手数料 495 雑入 17	7,657
	（説　明） 国土調査法に基づく地籍調査事業を実施し、地籍の明確化を図った。 ○松川第1地区　Ａ＝0.09㎢　地籍測量・地籍図作成 ○松川第2地区　Ａ＝0.05㎢　調査・測量				

6款　農林水産業費　　2項　林　　業　　費

（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
林業振興費（農林整備課）	1　森林病害虫等防除事業費	2,390	－	－	2,390
	（説　明） 森林病害虫被害予防として、危険木除去等を実施し、森林資源の保護を図った。 ○危険木除去 ○薬剤樹幹注入				
	2　里山林保全対策事業費	4,962	県　3,347	－	1,615
	（説　明） 森林病害虫等の拡大防止を図るため、被害木の調査、伐倒駆除を実施した。 ○被害調査（松くい虫・カシノナガキクイムシ等）				
	3　森林環境交付金事業費	21,090	県　21,090	－	－
	（説　明） 県の森林環境税を財源とする森林環境交付金を活用した事業を行い、森林環境の保全や森林づくりの意識醸成を図った。 ○森林環境学習の推進事業(福島第一小学校　ほか36校) 7,694 ○森林ＧＩＳシステム使用料 396 ○県産材の利活用推進事業(桜の聖母学院小中学校校舎増築工事) 13,000				
	4　森林環境整備事業費	48,884	－	基金繰入金 48,884	－
	（説　明） 森林環境譲与税を活用し、市内の小学生を対象とした普及啓発事業を実施するとともに、東京都荒川区と市内森林の整備を目的とした交流事業を実施した。 また、経営管理権集積計画に基づく森林整備、林道等維持管理事業、福島市森林ビジョン策定を行った。 ○森林・林業学習事業（鳥川小学校 ほか4校） 1,744 ○「あらかわの森」植樹・交流イベント（東京都荒川区交流事業） 963 ○森林整備（吾妻地区） 29,106 ○林道等維持管理事業 6,956 ○福島市森林ビジョン策定 10,115				

6款　農林水産業費　　2項　林　　業　　費　　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国支出金	県	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
	5　ふくしま森林再生事業費（復興事業費）	119,958	県	87,539	－	32,419
	（説　明） 放射性物質の影響により森林所有者による森林整備が停滞している民有林を対象に、森林整備を行った。 ○森林整備等　119,557 ・町庭坂土谷場第2地区　ほか5地区 ○事　務　費　400					
	6　林業専用道整備事業費（復興事業費）	29,070	－		－	29,070
	（説　明） 東日本大震災、原子力災害からの復興再生と持続可能な林業経営に向け、林業のための道路整備を実施した。県営事業（県発注・施工）により実施し、事業費の一部を負担した。 ○負　担　金 ・上古屋線（土工事、緑化工事）					
	7　広葉樹林再生事業費（復興事業費）	4,250	県	4,250	－	－
	（説　明） 広葉樹林の再生（放射性物質濃度の低減）を図るための森林整備の実施に必要な事前調査を行った。 ○森林境界の明確化等　3,850 ・町庭坂上古屋地区 ○事　務　費　400					

7款　商　工　費　　1項　商　　工　　費　　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国支出金	県	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
商工業振興費（産業雇用政策課）	1　中小企業振興預託金	726,201	－		貸付金元利収入 726,200	1
	（説　明） 中小企業者の金融の円滑化を図るため、市融資制度及び国・県制度の利用促進に努めた。 また、震災特別枠を設け、中小企業の復興を支援した。 ○利用実績 ・中小企業一般融資　84件（一般枠75件、震災特別枠9件）					
	2　中小企業信用保証料補助金	7,346	－		－	7,346
	（説　明） 中小企業者の金融の円滑化及び負担の軽減を図るため、市中小企業一般融資及び県起業家支援保証制度の利用者に対し、信用保証料の2分の1（県起業家支援保証制度は5分の4）を補助（上限50万円）した。 ○補助件数　103件（市中小企業一般融資84件、県起業家支援保証制度19件）					
	3　中小企業ゼロカーボン資金融資預託金	308,000	－		貸付金元利収入 308,000	－
	（説　明） 中小企業者の金融の円滑化を図るとともに、中小企業のゼロカーボンに向けた設備開発や導入を支援した。 ○利用実績 ・中小企業ゼロカーボン資金融資　2件（開発資金枠1件、導入資金枠1件）					
	4　中小企業ゼロカーボン資金融資信用保証料補助金	208	－		－	208
	（説　明） 中小企業者の金融の円滑化及び負担の軽減を図るため、市中小企業ゼロカーボン資金融資の利用者に対し、信用保証料の3分の2を補助（上限50万円）した。 ○補助件数　2件					

7款　商　工　費　　1項　商　　工　　費

（単位　千円）

目	事　業　名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	その他特定収入	一般財源
（企業振興課）	5　工業振興対策費	1,139	－	－	1,139
	（説　明） 地域の産業振興を図るため、技能者の地位や技能水準の向上、優れた技能・技術の伝承等を目的として技能功労者の表彰や名工展を開催するとともに、中小企業の後継者を対象とした育成塾を実施した。 また、新しいビジネスや技術革新に関する交流の場を創出するため、福島ビジネス創生フォーラムを開催した。 ○技能功労者表彰・名工展事業　806 ○後継者育成事業　252 ○福島ビジネス創生フォーラム　21 ○そ の 他　61				
	6　企業立地促進費	107,812	－	－	107,812
	（説　明） 産業の振興と雇用の拡大を図るため、企業訪問や展示会への出展等により、立地支援制度等の情報を発信し、積極的な企業誘致活動を行った。 また、企業立地促進条例に基づく奨励措置として、助成金を交付した。 ○展示会出展等実績　3,933 ・福島市企業立地セミナー（東京都）ほか7件 ○助成金交付実績　100,011 ・用地取得助成金　2社 ・操業奨励助成金　4社 ・雇用奨励助成金　4社 ○その他　3,868				
	7　「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援事業費	4,309	－	－	4,309
	（説　明） 本市でオフィスを開設し、本社機能を移転した企業に対して改修費等を支援した。 ○改修費支援金　1件 ○設備購入費支援金　1件				

7款　商　工　費　　1項　商　　工　　費

（単位　千円）

目	事　業　名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	その他特定収入	一般財源
（にぎわい商業課）	8　街なかにぎわい創出事業費	31,020	－	－	31,020
	（説　明） エスタビル地下1階に「街なか交流館」を設置し、再開発事業期間における福島駅周辺を中心とした街なかの賑わいと交流人口の拡大を図るとともに、市民が交流・活動する空間を創出した。 また、まちづくりに関わり活動する団体間の連携を図るため、街なか賑わい創出プロジェクトの活動基盤として情報システムの運用を行った。 ○街なか交流館等委託事業関連　30,000 ・来場者数　54,071人 ○街なか賑わい創出プロジェクト関連　1,020				
	9　商店街等活性化イベント支援事業費	33,040	－	－	33,040
	（説　明） 商店街等が実施するイベント等に対し補助を行い、地域経済の活性化及び賑わい創出を図った。 ○補 助 件 数　79件				
	10 街なかテーマぱーく事業費	9,999	県　7,499	－	2,500
	（説　明） 街なか全体でこどもたちをおもてなしするため、福島駅周辺をテーマパークに見立て、ロードトレインやステージショーなどを中心とした「まちなかこどもの日」を実施した。 また、新たに駅前にぎわい広場を会場に加え、来場者数の増加及び回遊性の向上につなげた。 ○まちなかこどもの日2025 ・開 催 月 日　5月5日 ・実 施 内 容　ロードトレイン、エア遊具、ステージイベント、フードコンテンツ　ほか ・会　場　福島駅前通り、まちなか広場、駅前にぎわい広場　ほか ・来 場 者 数　約49,000人				

7款　商　工　費　　1項　商　　工　　費　　（単位　千円）

目	事　業　名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
	11 新規出店支援事業費	18,666	－	－	18,666
	（説　明） 中心市街地及び地域拠点の活性化と賑わいの創出を図るため、空き店舗、新規店舗及び空き家へ新規出店する事業者に対し、内外装工事などの経費の一部を支援した。 ○補 助 件 数　17件（うち中心市街地15件、飯坂地区2件）				
	12 街なか出店入居者家賃補助事業費	69,126	県　3,673	－	65,453
	（説　明） 商店会等が実施する街なかの空き店舗を活用した魅力向上を図る事業に対する支援を行い、空き店舗解消と商店街の賑わい創出を図った。 ○活力ある商店街支援事業 ・補助件数（継続分を含む）　119件（うち県補助該当13件、市独自106件） うち新規分　21件（うち県補助該当 3件、市独自18件）				
	13 「納豆のまち福島」ブランド化推進事業費	1,699	－	－	1,699
	（説　明） 一世帯あたりの納豆の年間消費額日本一を目指し、民間事業者と連携したＰＲ事業を展開することで、市内の飲食業界や観光の活性化、納豆の消費拡大、さらには「納豆のまち福島」のブランド化を図った。 ○毎月10日は納豆の日キャンペーン（納豆クイズ正解者に抽選で福島市の特産品を贈呈） ○納豆のまち福島専用サイト「ねばりんく」を活用した情報発信 ○イベントへのブース出展を通じた「納豆のまち福島」のＰＲ				

7款　商　工　費　　1項　商　　工　　費　　（単位　千円）

目	事　業　名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
（産業雇用政策課）	14 ふくしま田園中枢都市圏ビジョン事業費	1,581	－	－	1,581
	（説　明） 圏域内企業の新規取引の拡大を図るため、ふくしま産業交流フェアを開催し、企業や支援機関によるブース展示やプレゼンテーションの実施により、ビジネス交流の場を創出した。 ○ふくしま産業交流フェア ・参加団体数　141企業・団体				
	15 新産業創造推進費	8,611	－	－	8,611
	（説　明） 市内企業の付加価値の高いものづくりにより地域産業の活性化を図るため、産業支援コーディネーターを配置し、企業の課題解決や研究機関等との連携を支援した。 また、航空宇宙関連産業の推進に向け、先進地・大学・研究機関等への訪問による情報収集や、福島県及び連携協定を締結している(株)パスファインダー等と連携した宇宙関連産業セミナーを開催し、市内企業の同分野への参入促進及び関係機関との連携強化を図った。 ○産業支援コーディネーターによる企業支援　7,842 ○その他　769				
	16 新製品・新技術開発支援事業費	11,923	－	－	11,923
	（説　明） 付加価値の高いものづくりにより新たな産業や事業の創出を図るため、新製品・新技術の開発を行う市内企業に対し補助金を交付した。 ○新製品・新技術開発支援事業 ・補助件数　特定集積産業枠6件（医療福祉機器等4件、食品加工2件）				

7款　商　工　費　　1項　商　　工　　費　（単位　千円）

目	事　業　名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
（にぎわい商業課）	17 新製品・新システム応援事業費	1,675	－	－	1,675
	（説　明） 市内で開発・製造されている製品を購入・活用し、企業の販路拡大や製品改良を支援することで地域産業の振興を図った。 ○ふくしま新製品・新システム応援事業 ・採択件数　1件				
	18 福島市プレミアム付きクーポン事業費（繰越明許費）	554,492	－	－	554,492
	（説　明） 長引く物価高騰に苦しむ市民生活の支援に加え、市内における消費拡大を図り、地域経済の回復につなげるため、福島市プレミアム付きクーポンを発行した。 ○福島市プレミアム付きクーポン事業 ・利用期間　5月1日～10月31日 ・加盟店　約1,300店 ・事務費　160,642 ・負担金（プレミアム分）　393,850				

7款　商　工　費　　1項　商　　工　　費　（単位　千円）

目	事　業　名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
観光費（観光交流推進室）	1 ふくしま三名湯誘客促進事業費	1,496	国　748	－	748
	（説　明） 全国に向けて「ふくしま＝温泉地」のイメージを浸透させるため、飯坂、土湯、高湯の三温泉地の関係者による「ふくしま三名湯誘客促進会議」を発足するとともに、ブランドＰＲの推進に向けた誘客促進ツールの作成を行い、ふくしま三名湯の誘客促進を図った。 ○リーフレット　5,000部 ○のぼり　50枚 ○ポスター　30枚				
	2 温泉地活性化推進事業費	18,000	－	基金繰入金 18,000	－
	（説　明） 温泉地施設整備基金（昭和51年3月設置）を活用して、各温泉地の観光協会等に対し補助金を交付し、温泉地の活性化を図った。 ○飯坂　イベント事業（花ももの里、オングラ、温泉むすめ等）、 宣伝広告事業（県外ＰＲ、インバウンドＰＲ、パンフレット作成等）　ほか　6,000 ○土湯　イベント事業（こけしまつり、夜のぶらっとバル、浴衣・着物でまち歩き等）、 宣伝広告事業（広告掲載、パンフレット作成等）、 景観整備事業（ライトアップ）　ほか　6,000 ○高湯　イベント事業（高湯あかり等）、宣伝広告事業（広告掲載、パンフレット作成等）、 景観整備事業（高湯街道花壇整備、温泉公園整備等）　ほか　6,000				
	3 ふくしまデスティネーションキャンペーン事業費	4,778	国　2,176	－	2,602
	（説　明） 令和8年の本番ＤＣに向けて、ＪＲや県、観光関係事業者等と連携したプロモーション活動やパンフレット作成等を行った。 ○観光プロモーション ・全国の旅行会社を対象とした全国宣伝販売促進会議への参加及び福島市内の観光地を巡る現地視察 ・旅行会社を対象とした商談会における観光資源や体験コンテンツの紹介 ○福島駅前居酒屋パンフレットの作成 ・部数　5,000部 ・配布先　観光案内所や福島駅周辺の宿泊施設等、各種イベント等で配布 ○福島県デスティネーションキャンペーン実行委員会事業負担金 ・福島県デスティネーションキャンペーン実行委員会が実施する販促活動や事業にかかる市町村負担金				

7款　商　工　費　　1項　商　　工　　費　　（単位　千円）

目	事　業　名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
	4　ロケツーリズム推進事業費	3,231	－	－	3,231

（説　明）
　地域の資源を生かした映画やドラマ等のロケ誘致・支援に取り組み、ロケツーリズムによる観光振興、地域活性化を図った。
○ロケツーリズム推進会議事業補助金
　・映画やドラマ等のロケ誘致及び撮影支援
　　問合せ 45件
　　決定　25件(映画4件、バラエティ8件、ＣＭ3件、ミュージックビデオ3件、情報・旅番組3件、その他4件)
　　決定率 55.6%
　・映画・ドラマ等撮影支援補助金　2件
　・ロケ地巡りによる周遊促進
　　ロケ地企画展
　　ホームページ、ＳＮＳによる情報発信

	5　ふくしま花回廊推進事業費	21,192	－	－	21,192

（説　明）
　花見山をはじめとした花回廊スポットや飲食店を巡るデジタルラリーの実施により、花回廊スポットの誘客や周遊促進を図った。
　また、ふくしま花回廊推進事業補助金により、各花回廊スポットの受け入れ環境整備を図り、魅力向上に取り組んだ。
○ふくしま花回廊デジタルラリー事業　20,000
　・応募件数　20,258件
　・スタンプ獲得箇所　346ヵ所
○ふくしま花回廊パンフレット作成　499
○ふくしま花回廊推進事業補助金　425
　・補助件数　7件
○ふくしま花回廊シーズン到来セレモニー　268

	6　スイーツ・プレミアム事業費	2,233	国　1,116	－	1,117

（説　明）
　本市農産物を活用し優れたスイーツとして認証された「ふくしまスイーツ・プレミアム」のプロモーションを展開することで本市のイメージ向上、農業の振興、地域経済の活性化を図った。
○首都圏等販売会（日本橋ふくしま館ミデッテ）
○認証品売上調査
　・認証を受けた19事業者のうち、3事業者が前年より売上増と回答
○Ｗｅｂプロモーション
　・市公式ホームページ　　アクセス数　6,811回
　・市公式インスタグラム　フォロワー　2,072人

7款　商　工　費　　1項　商　　工　　費　　（単位　千円）

目	事　業　名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
	7　「ふくしまステイ。」プロモーション事業費	9,224	－	雑入　5,858	3,366

（説　明）
　本市の自然、温泉、アウトドア、アクティビティ、グルメ、歴史、文化などの魅力を楽しむ滞在スタイルを「ちょうどいい旅、ふくしまステイ。」としてブランド化し、首都圏若年層をターゲットに誘客及び周遊促進を図った。
○宿泊プラン造成・販売
　・プラン数　　133プラン（31事業者）
　・人泊数　　19,802人泊
　・取扱額　　242,997千円
○Ｗｅｂプロモーション
　・広告配信
　　Googleディスプレイ広告配信　2回（計25日間）
　　広告表示回数　1,949,713回
　　「福島市観光ノート」閲覧数　25,945PV
　・インスタグラムフォローキャンペーン
　　フォロワー増加数　657人
　　閲覧数　88,000PV
○体験コンテンツの磨き上げ・造成数　6件

	8　あづま山麓ツーリズム推進事業費	4,819	－	－	4,819

（説　明）
　磐梯朝日国立公園に位置する「吾妻連峰」の大自然やあづま山麓エリアに存在する「多様な酒造り」の観光資源に焦点をあて、コンテンツの磨き上げやプロモーションを実施し、魅力向上と誘客促進を図った。
　また、登山道の整備等を実施した。
○あづま山麓ツーリズム推進事業　4,323
　・コンテンツ磨き上げ
　　（人材育成セミナーの開催、モニターツアーの実施、ペアリングメニュー開発支援等）
　・プロモーションイベントの開催及び出展
　　（「あづまオクトーバーフェス」、「福島の酒ペアリングフェアin東京」、ほか各種ブース出展）
○吾妻連峰登山道刈り払い　496

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
	9　ふくしまスカイパーク活用推進費	5,000	国　2,350	－	2,650

（説　明）
空の体験イベントを実施することで、未来を担う子どもたちの航空宇宙産業への興味関心を高めるとともに、空観光をテーマにした誘客促進及び地域活性化の促進を図った。
○プレＤＣ特別企画「室屋義秀プレＤＣフライト＆エアショー」
※「ふくしまスカイパーク フェスタ2025～春～」に併せて実施
・開催日　4月29日(火・祝)
・場所　ふくしまスカイパーク、ふくしま花回廊SHU-YUデジタルラリーのポイント5ヵ所の上空
・来場者数　1,500人
○WINGS 2025
・開催日　10月12日(日)
・場所　ふくしまスカイパーク
・来場者数　2,000人

	10 インバウンド誘客プロモーション事業費	8,050	国　4,025	－	4,025

（説　明）
インバウンド需要が高まっていることを受け、台湾に向けて福島市の魅力を積極的に発信するため、個人旅行向けのデジタルプロモーションと団体旅行向けのリアルプロモーションを展開し、本市の認知度向上と誘客促進を図った。
○デジタルプロモーション（台湾）　3,853
・インフルエンサー招請　招請人数2人、投稿数6本、再生回数321,000回再生
・動画広告配信　756,215回再生
○リアルプロモーション（台湾）　3,152
・夏季セールスコール
訪 問 先　日本台湾交流協会台北事務所、台湾日本関係協会、全農インターナショナル、現地旅行会社6社
訪 問 日　8月19日～20日
・冬季セールスコール
訪 問 先　現地旅行会社6社
訪 問 日　12月4日～5日
・日本東北遊楽日
来場者数　計101,000人
開 催 日　12月6日～7日
○パンフレット増刷（台湾・タイ）　1,045

7款　商　工　費　　1項　商　　工　　費　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
（福島駅前交流・集客拠点施設公共価値創造課）（観光交流推進室）【ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ推進課】	11 コンベンション推進事業費	28,107	－	基金繰入金 16,756	11,351

（説　明）
（一社）福島市観光コンベンション協会と連携し、ＭＩＣＥ商談会への出展や大学、研究機関などを訪問し、誘致活動を展開するとともに、市内で開催された学会等に対し、補助金の交付をはじめとする支援を行った。
また、福島駅前交流・集客拠点施設については、見直し方針に基づき基本設計を概成するなど、事業の推進を図った。
○コンベンション誘致事業費　568
○コンベンション支援事業費　2,432
・コンベンション補助金　15件
・エクスカーション補助金　5件
○観光コンベンション協会ＭＩＣＥ補助金　8,352
○福島駅前交流・集客拠点施設整備事業費　16,756

（観光交流推進室）	12 春の花見山おもてなし事業費（復興事業費）	58,482	－	－	58,482

（説　明）
春の花見山観光において、臨時駐車場の整備や交通誘導員の配置、仮設トイレ・物産ひろばの設置等により観光客の受け入れ体制を整備し、観光誘客の推進及び地域住民の生活環境の保全を図った。
○来 訪 者 数　約77,000人

観光施設費（観光交流推進室）	1　施設改修費	220,362	国　12,661	債　147,600	60,101

（説　明）
飯坂温泉観光会館の非常用発電設備の更新工事等を行った。
○飯坂温泉観光会館非常用発電設備更新工事（6～7年度継続事業）　185,080

年度	事業費	左の財源内訳 特定財源 国県支出金	特定財源 地方債	特定財源 その他	一般財源
6	18,750	－	14,000	－	4,750
7	185,080	－	138,700	－	46,380
計	203,830	－	152,700	－	51,130

○無線LAN設備機能強化　21,670
○映像機器購入　3,652
○照明器具改修　9,900
○その他　60

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
	2　ＵＦＯふれあい館高付加価値化創出事業費	3,190	国　1,595	－	1,595
	（説　明） ＵＦＯふれあい館の内装リニューアルを実施し、本施設利用者の満足度向上及び誘客促進を図った。 ○施工内容　1階トイレ内装・ミステリーゾーン床面リニューアル				
	3　地域振興施設道の駅費	38,053	－	雑入　8,918	29,135
	（説　明） 福島市地域振興施設「道の駅(道の駅ふくしま)」における、地域産品やご当地グルメ等の販売、地域情報の発信、屋内こども遊び場の提供等により、地域産業の振興及び市内回遊の促進を図った。 ○来場者数　約171万人 ○売上額　約15億4千万円				

7款　商　工　費　　1項　商　　工　　費　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
消費者保護対策費（生活課）	1　消費者啓発事業費	1,430	－	－	1,430
	（説　明） 複雑多様化する消費生活トラブルについて、啓発事業を行うとともに、正しい知識や情報を提供し、意識の高揚を図った。 ○消費者講座（くらしの講座）　5回　130人 ○消費生活学習会　31回　759人 ○ラジオスポット放送　104回 ○福島市民のくらし展 ※隔年開催　1回　382人				
	2　消費者被害未然防止対策事業費	1,310	県　655	－	655
	（説　明） なりすまし詐欺をはじめとする高齢者等の消費者被害の未然防止・拡大防止を図った。 ○悪質電話撃退装置等購入費補助　139台 ○成年年齢引き下げに伴う若年者の消費者被害未然防止の啓発 ○消費者の安全を守る地域協議会との高齢者等への啓発強化等				

8款　土　木　費　　1項　土　木　管　理　費

（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
建築指導費（住宅政策課）	1　住まいの耐震化促進事業費	1,618	国 809 県 404	－	405

（説　明）
「福島市耐震改修促進計画」に基づき、昭和56年5月31日以前に建てられた旧耐震基準の木造住宅の耐震化を促進するため、耐震診断を実施した。また、耐震改修工事を行った者に対し補助金を交付した。
○耐震診断　3件
○耐震改修　1件（繰越明許費）

区分	補助額
一般耐震改修・現地建替	工事費の4/5以内（最大115万円）
簡易・部分耐震改修	工事費の4/5以内（最大69万円）

目	事業名	事業費（決算額）	国県支出金	その他特定収入	一般財源
（開発建築指導課）	2　ブロック塀等撤去助成事業費	790	国 394 県 192	－	204

（説　明）
「福島市耐震改修促進計画」に基づき、地震により倒壊のおそれのあるブロック塀等の撤去を行った者に対し補助金を交付した。
○補助件数　11件

8款　土　木　費　　2項　道路橋りょう費

（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	国県支出金	その他特定収入	一般財源
交通安全施設整備費（道路保全課）	1　防災・安全交付金事業費	8,000	国 4,400	債 3,200	400

（説　明）
生活道路の要対策箇所において、路側帯のカラー舗装や区画線の設置などにより、安全対策を講じた。
○生活道路安全対策費
・沖高地区（北天王下・樋越線）　ほか12路線
路側帯カラー舗装　A＝172.2㎡　区画線工（幅15cm）L＝2,776.5m　ほか

目	事業名	事業費（決算額）	国県支出金	その他特定収入	一般財源
（道路保全課）（道路整備課）	2　交通安全施設整備国庫補助事業費	76,588	国 42,124	債 34,300	164

（説　明）
通学路の要対策箇所等において、路側帯のカラー舗装や道路側溝の蓋掛、歩道の拡幅などにより、安全対策を講じた。
○通学路等安全対策事業費（経済対策）　2,002
・清水小学校通学路（清水田・柳清水線）　ほか1校1路線
路側帯カラー舗装　A＝76.7㎡
○通学路等安全対策事業費（総合経済対策）（繰越明許費）　32,833
・笹谷小学校通学路（横堀・石田線）　ほか4校9路線
路側帯カラー舗装　A＝242.5㎡
道路側溝蓋掛　L＝104.4m　ほか
○八島町地区周辺道路整備事業費（総合経済対策）（繰越明許費）　41,753
・台帳整備、改良工　L＝75.6m

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
（道路保全課）	3　交通安全施設整備市単事業費	71,169	－	債　29,100	42,069

（説　明）
歩道の段差解消や交通安全施設の設置・修繕を行い、安全かつ円滑な通行を確保した。

○市単事業費	
・人にやさしい道づくり	20,413
南町・佐倉下線　ほか1路線　道路舗装修繕等工事、測量設計　L＝171.9m	
・防護柵設置　3ヵ所	1,462
戸ノ内・日向線　ほか	
・道路反射鏡設置　2基	640
金沢・立子山線　ほか	
・標識設置　6基	1,329
六角・石台森線　ほか	
・交通安全施設設置　2ヵ所	484
南向台・黒岩線　ほか	
・道路区画線修繕　L＝11,985.9m	10,503
佐原・折戸線　ほか	
・道路照明灯、反射鏡、防護柵等修繕　46件	35,522
・事　務　費	816

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
道路維持費（道路保全課）	1　防災・安全交付金事業費	70,220	国　35,110	債　28,300	6,810

（説　明）
経年劣化による損傷箇所が断続的に続く市道路線の舗装修繕を、年次計画により効率的に実施し、安全かつ円滑な通行を確保した。
また、予防保全的修繕によるコスト縮減のため、道路施設の点検を実施した。

○舗装修繕事業費	36,000
・鳥川・大笹生線　ほか3路線　A＝2,294.0㎡	
○道路ストック総点検事業費	10,000
・道路附属施設点検、路面下空洞調査	
○舗装修繕事業費（総合経済対策）（繰越明許費）	24,220
・下染屋・大沢線　ほか1路線　A＝2,240.5㎡	

8款　土　木　費　　2項　道路橋りょう費　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
	2　道路維持費	1,478,020	国　43,937	雑入　12 債　560,600	873,471

（説　明）
道路の安全な通行を確保するため、道路施設の維持修繕等を行った。

○美術館前アートストリート整備事業費	65,681
・ストリートプリント　L＝76.3m	
・歩道修繕　L＝293.4m	
・点字ブロック整備　L＝467.0m	
○道路維持管理費	105,988
・北矢野目ポンプ場電気設備更新　ほか	
○舗装道維持修繕費	432,752
・修繕工　A＝25,228.8㎡、測量設計、合材等購入	
○土留側溝維持修繕費	439,438
・修繕工　L＝1,947.0m、側溝土砂撤去　L＝35,364.0m、測量設計、側溝蓋等購入	
○土留側溝冠水対策費	8,745
・道路側溝改修	
○砂利道維持修繕費	8,119
・砂利道不陸整正、砕石等購入	
○道路緑化費	84,941
・街路樹維持管理業務委託　ほか	
○地域安全緊急対策事業費	98,050
・集中的修繕対策	
○除　雪　費	103,530
・除雪業務委託　ほか	
○除雪力強化対策費	4,601
・凍結防止剤散布車賃貸借	
○凍結防止剤散布装置設置事業費	2,698
・設置6台　賃借料	
○地域除雪活動支援事業費	783
・小型除雪機械購入補助　3団体　3台	
○除雪車運行管理システム事業費	8,151
・除雪車運行管理システム保守	
○街灯維持費	100,804
・修繕料、電気料　ほか	
○事 務 費 等	3,949
・会計年度任用職員費　ほか	
○土留側溝維持修繕費（繰越明許費）	9,790
・堂ノ後・内田線	

8款　土　木　費　　2項　道路橋りょう費

（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
	3　街路灯・道路照明灯ＬＥＤ化推進事業費（復興事業費）	233,889	－	債　210,400	23,489

（説　明）
脱炭素社会の実現を目指した省資源・省エネルギーの推進を図るため、街路灯及び道路照明灯をＬＥＤ灯に交換した。

○街路灯ＬＥＤ化推進事業費　84,095
・街路灯修繕　1,741灯

○照明灯ＬＥＤ化推進事業費　149,794
・道路照明灯修繕　749灯

8款　土　木　費　　2項　道路橋りょう費

（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
道路新設改良費（道路整備課）	1　社会資本整備総合交付金事業費	345,170	国　182,594	債　148,700	13,876

（説　明）
安全な道路環境の創出に向け、幹線道路の整備を行った。

○北谷地長畑線（北谷地工区）改良工事費　5,516
・改良工　Ｌ＝95.1m

○南町佐倉下線改良工事費　8,237
・用地買収、物件補償、改良工　Ｌ＝50.3m

○中町太田町線改良工事費　990
・測量設計

○杉妻町御山線（新浜町工区）改良工事費　52,265
・用地買収、物件補償

○御山町信夫山線（狐塚工区）改良工事費　2,424
・改良工　Ｌ＝60.0m

○鳥川大笹生線（佐倉下工区）改良工事費　426
・台帳整備

○杉妻町御山線（新浜町工区）改良工事費（繰越明許費）　35,943
・物件補償

○鳥川大笹生線改良工事費（繰越明許費）　16,086
・物件調査、用地買収、物件補償、歩道橋下部工　Ｌ＝60.0m

○南町佐倉下線改良工事費（繰越明許費）　1,691
・物件調査、物件補償

○杉妻町御山線（新浜町工区）改良工事費（総合経済対策）（繰越明許費）　23,000
・土質調査、測量設計、物件補償、改良工　Ｌ＝98.0m

○鳥川大笹生線（2工区）改良工事費（総合経済対策）（繰越明許費）　110,000
・物件補償、改良工　Ｌ＝193.3m、歩道橋上部工　Ｌ＝13.0m

○鳥川大笹生線（佐倉下工区）改良工事費（総合経済対策）（繰越明許費）　18,484
・用地買収、改良工　Ｌ＝20.8m

○椿沢線（大久保工区）改良工事費（総合経済対策）（繰越明許費）　10,430
・用地測量

○南町佐倉下線改良工事費（総合経済対策）（繰越明許費）　13,146
・用地買収、物件補償、改良工　Ｌ＝68.6m

○大蔵南慶二線（岡部工区）改良工事費（総合経済対策）（繰越明許費）　11,947
・台帳整備、改良工　Ｌ＝45.0m

○北谷地長畑線（北谷地工区）改良工事費（総合経済対策）（繰越明許費）　8,276
・測量設計、物件補償、改良工　Ｌ＝98.0m

○鍛治合内線改良工事費（総合経済対策）（繰越明許費）　4,400
・改良工　Ｌ＝49.0m

○御山町信夫山線（狐塚工区）改良工事費（総合経済対策）（繰越明許費）　21,908
・改良工　Ｌ＝60.0m

8款　土　木　費　　2項　道路橋りょう費

（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
（路政課）	2　道路整備市単事業費	249,492	県　7,015	債　211,700	30,777

（説　明）
通行の安全性と利便性の向上を図るため、生活道路の整備を行った。
○道路改良事業費　144,695
・絵馬平4号線　ほか　34路線
測量設計、用地買収、物件補償、埋蔵文化財調査、改良工　L＝2,239.9m
○地域安全緊急対策事業費
・山ノ下・天神2号線　ほか　8路線　100,000
測量設計、物件補償、改良工　L＝775.1m
○みなし道路整備事業費　4,797
・みなし道路用地買収28件、登記11件

目	事業名	事業費（決算額）	国県支出金	その他特定収入	一般財源
	3　国県道路整備促進費	1,378	－	－	1,378

（説　明）
国や県への要望活動や各期成同盟会活動への参画により、西道路（Ⅱ期）をはじめとする国道及び県道の整備を促進した。

8款　土　木　費　　2項　道路橋りょう費

（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	国県支出金	その他特定収入	一般財源
橋りょう維持費（道路保全課）	1　橋りょう維持費	89,893	国　31,761	債　4,700	53,432

（説　明）
「福島市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、市が管理する橋梁の計画的な点検及び維持修繕等を行い、橋梁の安全な通行を確保した。
○長寿命化推進費　55,761
・南向台・黒岩線（蓬莱橋）　ほか217橋　橋梁点検
○維持修繕費　32,144
・横町・茶畑線（割前1号橋）　ほか5橋　橋梁補修工　8,215
・鎌田・笹谷線（鎌田大橋）　ほか8橋　計測調査、特別調査、補修設計　11,697
・矢剣町・鳥谷下町線（天神橋）　ほか25橋　虫害対策、塗膜調査、護岸構造調査　12,212
・事　務　費　20
○長寿命化推進費（繰越明許費）　1,988
・角釜・本山線（本山跨線道路橋）　橋梁点検

目	事業名	事業費（決算額）	国県支出金	その他特定収入	一般財源
	2　道路メンテナンス事業費	692,659	国　373,935	債　283,200	35,524

（説　明）
老朽化や災害に対応するため、市が管理する橋梁の補強補修等を行い、橋梁の安全な通行を確保した。
○長寿命化修繕事業費　376,006
・湯町・姥堂線（西須川橋）　ほか19橋　橋梁補修工、補修設計
○長寿命化修繕事業費（繰越明許費）　254,853
・南町・浅川線（蓬莱北歩道橋）　ほか3橋　橋梁補修工、補修設計
○長寿命化修繕事業費（総合経済対策）（繰越明許費）　61,800
・小田・荒井線（北焼野大橋）　ほか2橋　橋梁補修工、補修設計

8款　土　木　費　　3項　河　　川　　費　　（単位　千円）

目	事　業　名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
河川総務費（河川課）	1　阿武隈川サミット事業費	600	－	－	600
	（説　明） 治水・利水、河川環境保全に対する理解促進を図るため、流域自治体の小学生を対象としたイベントとして、「阿武隈川源流探検」及び「舟に乗って学ぶ阿武隈川ｉｎ丸森」を開催した。				
河川維持費（河川課）	1　洪水ハザードマップ活用事業費	11,748	国　5,861	－	5,887
	（説　明） 浸水想定区域、土砂災害警戒区域、新たな土砂災害のおそれのある箇所、避難所の位置などを記載したハザードマップを作成した。 ○ハザードマップ作成　10,591 洪水ハザードマップ（くるみ川の浸水想定区域変更） 土砂災害ハザードマップ（避難所及び洪水情報の追加） ○まるごとまちごとハザードマップ標識設置工事　1,157 （避難所案内看板設置3基　清水、杉妻、土湯）				
	2　河川水路維持修繕等費	47,947	国　577 県　15,484	－	31,886
	（説　明） 地域住民の安全を確保するため、河川及び排水路等の適切な維持管理を行った。 ○河川水路等維持修繕工事　21,392 ○土砂浚渫、除草、清掃等委託　26,555				
	3　河川災害対策事業費	9,711	－	－	9,711
	（説　明） 浸水被害常襲箇所下流の排水樋管に設置している簡易型河川監視カメラにより、河川の監視を行った。 また、地震により破損した、雨水一時貯留施設に設置している排水ポンプの更新を行った。 ○祓川外簡易型監視カメラ　5台（リース）　2,310 ○祓川雨水一時貯留施設ポンプ更新工事　2台　2,000 ○その他　5,401				

8款　土　木　費　　3項　河　　川　　費　　（単位　千円）

目	事　業　名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
	4　河川災害緊急対策事業費	25,927	－	債　25,800	127
	（説　明） 洪水・浸水被害を未然に防ぐため、緊急浚渫推進事業債を活用し、土砂浚渫等を行った。 また、小規模水路の土砂浚渫や維持管理を行った。 ○河川土砂浚渫事業費　3,168 ・胡桃川　ほか2ヵ所 ○河川土砂浚渫事業費（繰越明許費）　22,759 ・馬川　ほか10ヵ所				
河川改良費（河川課）	1　河川整備市単事業費	2,139	－	雑入　1	2,138
	（説　明） 大雨による浸水被害を軽減するため、河川の整備を行うための測量設計業務を行った。 ○渋川測量設計業務　990 ○事務費　1,149				
	2　河川災害緊急対策事業費	415,865	－	債　415,700	165
	（説　明） 大雨による浸水被害を軽減するため、緊急自然災害防止対策事業債を活用し、市管理河川の改修を行った。 ○河川強靭化事業費　322,370 ・小舟入川　ほか11ヵ所　Ｌ＝1,453.1m ○河川強靭化事業費（繰越明許費）　93,495 ・渋川　ほか 2ヵ所　Ｌ＝281.5m				

8款　土　木　費　　4項　都　市　計　画　費　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
都市計画総務費（都市計画課）	1　３Ｄデジタル都市計画情報推進費	81,004	国　40,500	－	40,504
	（説明） ＤＸを活用したまちづくりを目的に、3D都市モデル（ＰＬＡＴＥＡＵ：プラトー）の整備を行った。 ○整備内訳 ・Ａ＝135.6ｋ㎡（ＬＯＤ1）				
	2　ウォーカブル推進事業費	32,967	国　16,483	－	16,484
	（説明） 官民が連携して、まちなかの魅力と回遊性の向上を図るため、ＡＩカメラによる人流分析システムの構築とウォーカブル推進計画の策定を進めた。 ○ＡＩカメラ人流分析システムの構築（カメラ8基設置）　24,970 ○ウォーカブル推進計画の策定　7,997				
	3　空家・空地対策事業費	50,962	国　20,981 県　4,001	－	25,980

（説　明）
「第2期福島市空家等対策計画」に基づき、空き家の発生を抑制するため、連携協定団体との合同相談会を開催した。
また、状態の悪い空き家の解消や流通及び利活用を促進するため、空き家バンクの運用に加え、特定空家等の除却を行った所有者及び空き家のリフォームや清掃を行った所有者に補助金を交付した。
空き地の対策では、都市機能区域における低未利用地の実態調査で所有者の意向アンケートを実施した。

区分	対象者	補助額	補助件数
特定空家等除却	特定空家等の所有者	対象経費の4/5（最大150万円）	5件
リフォーム	空き家購入者等（移住者、新婚・子育て世帯）	対象経費の1/2（最大170万円）	10件
清掃	空き家バンク物件登録者	対象経費の1/2（最大10万円）	4件

8款　土　木　費　　4項　都　市　計　画　費　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
交通対策費（交通政策課）	1　鉄道・バス等公共交通施設整備促進費	213,343	－	雑入　75 債　187,800	25,468
	（説　明） 公共交通機関の利便性及び安全性の向上を図るため、阿武隈急行線の車両及び保安施設等の更新に対する国・宮城県・福島県・沿線市町との協調補助と、福島交通飯坂線の保安施設等の更新に対する国・県との協調補助を行った。 ○阿武隈急行緊急保全整備事業費等補助金　139,482 ○鉄道軌道輸送対策事業費補助金　14,780 ○鉄道利用促進事業費補助金　75 ○法定外道路道路改良測量設計業務委託　912 ○事　務　費　30 ○阿武隈急行緊急保全整備事業費等補助金（繰越明許費）　48,417 ○鉄道軌道輸送対策事業費補助金(繰越明許費)　9,647				
	2　バス路線運行維持対策費	247,592	県　5,150	－	242,442
	（説　明） 市民の日常生活を支える移動手段を確保するため、生活路線バス等の運行経費や運転手確保の取組に対して補助金を交付した。 ○生活路線バス等運行対策補助金及び委託バス等交通対策補助金　236,923 ○松川下川崎乗合タクシー運行業務委託　3,965 ○松川水原乗合タクシー運行業務委託　5,599 ○公共交通運転手確保支援事業補助金　1,086 ○事務費　19				
	3　中心市街地活性化交通支援事業費	23,083	－	－	23,083
	（説　明） 中心市街地の回遊性向上による活性化を図るため、市内循環ももりんバスの運行に対して補助金を交付した。				
	4　地域で支える交通支援事業費	1,695	－	－	1,695
	（説　明） 公共交通不便地域等における移動困難者の日常生活の移動手段を確保するため、地域主体で計画し運行した事業に対して補助金を交付した。 ○補助件数　4件（立子山地区、庭坂地区、大波地区、蓬莱地区）				

8款　土　木　費　　4項　都　市　計　画　費　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
	5　メロディーバス運行事業費	14,939	－	－	14,939
	（説　明） 福島駅と古関裕而記念館を結ぶ周遊ルートにより「移動音楽館」をコンセプトとした古関裕而メロディーバス、ＥＶメロディーバスを運行した。 また、まちなかこどもの日や小学校鼓笛パレード等でイベント運行・展示を行い、古関裕而のまちをＰＲした。				
	6　ユニバーサルデザインのまちづくり推進事業費	3,634	国　1,672	－	1,962
	（説　明） 「福島市バリアフリーマスタープラン」で示した移動等円滑化促進地区におけるバリアフリー化を推進するため「福島市バリアフリー基本構想（土湯温泉地区）」を策定した。				
	7　自転車利用促進事業費	78,316	国　9,245	雑入　7 債　8,300	60,764
	（説　明） 自転車の利用環境整備と利用促進を図るため、自転車駐車場の確保及び維持管理を行うとともに、放置禁止区域での指導及び長期放置自転車の撤去等を実施した。 また、あづま陸橋下自転車駐車場の利便性向上と防犯対策強化を図るため、整備工事（1期）を実施した。				
	8　シェアサイクル管理運営事業費	17,436	－	雑入　4,764	12,672
	（説　明） 中心市街地の回遊性向上や地域観光の活性化を図るため、ＩｏＴ（スマートフォン）を活用した自転車貸出サービスを実施した。 ○貸出ポート　19ヵ所（※3～4月は期間限定で、花見山へ臨時ポート設置） （※2～5月は期間限定で、県立美術館へ臨時ポート設置） ○自転車台数　70台 ○利用回数　35,290回				

8款　土　木　費　　4項　都　市　計　画　費　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
街路事業費（道路整備課）	1　社会資本整備総合交付金事業費	188,660	国　96,052	債　87,300	5,308
	（説　明） 市街地における安全で円滑な交通を確保するため、幹線道路の整備を行った。 ○太平寺岡部線（御山町工区）改良工事費　28,327 ・用地買収、物件補償 ○北沢又丸子線（北沢又工区）改良工事費　28,380 ・用地買収、負担金 ○杉妻町早稲町線改良工事費　13,314 ・測量設計、用地買収、物件補償 ○矢剣町渡利線（渡利西工区）改良工事費　10,316 ・土質調査、測量調査 ○北沢又丸子線（北沢又工区）改良工事費（繰越明許費）　17,692 ・物件補償 ○太平寺岡部線（御山町工区）改良工事費（総合経済対策）（繰越明許費）　79,771 ・測量設計、改良工　Ｌ＝165.6m ○杉妻町早稲町線改良工事費（総合経済対策）（繰越明許費）　10,860 ・用地買収				
公園費（公園緑地課）	1　公園遊具安全安心整備事業費	4,756	－	－	4,756
	（説　明） 地域の憩いの場所を創出するとともに、安全で安心して利用できる公園づくりを推進するため、老朽化により緊急整備を要する児童遊び場等の公園遊具の修繕等を実施した。 ○瀬上御蔵場第2児童遊び場　ブランコ修繕　48 ○勝口公園　ほか4公園　ブランコ修繕　349 ○大森東公園　複合遊具修繕　358 ○笹谷公園　ほか14公園　遊具修繕　2,000 ○南向台第2公園　ほか1公園　遊具修繕　274 ○ひまわり児童遊び場　ほか6公園　遊具撤去　1,628 ○信夫山公園　ほか26公園　安全シール貼付　100				

8款　土　木　費　　4項　都　市　計　画　費　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
	2　公園トイレ整備事業費	18,400	－	債　16,500	1,900
	（説　明） 公園施設の快適性の向上を図るため、トイレの洋式化を実施した。 ○森合緑地　3基更新　1,298 ○蓬莱中央公園　5基更新　3,124 ○信夫山公園　5基更新　2,453 ○森合町公園　2基更新　1,298 ○荒川桜づつみ河川公園　3基更新　1,417 ○弥生公園　1基更新　601 ○弁天山公園　3基更新　1,958 ○ふたつやま公園　3基更新　1,768 ○愛宕山公園　4基更新　1,188 ○信夫山子供の森公園　2基更新　902 ○渡利七社宮児童遊園　3基更新　1,309 ○大森城山公園　2基更新　1,085				
	3　社会資本整備総合交付金事業費	66,700	国　32,234	債　30,000	4,466
	（説　明） 「福島市公園施設長寿命化計画」に基づく都市公園内の子育て環境の向上と安全安心な公園施設の充実を図るため、老朽化した公園施設を更新した。 また、地域の実情を十分に勘案するとともに、施設の管理者や住民等の協力を得つつ、官民共創での緑地の保全及び緑化の推進に関する施策や取組を総合的に展開することを目的として、緑の基本計画（改訂版）の策定に係る業務委託を実施した。 ○清水ほたるのせせらぎ公園　遊具　2基　14,960 ○瀬上公園　遊具　3基　8,030 ○しのぶ台第5公園　遊具　2基　3,575 ○森合緑地　遊具　2基　3,025 ○中條公園　遊具　5基　6,908 ○大森東公園　遊具　1基　814 ○美郷ふれあい公園　遊具　2基　1,425 ○荒川桜づつみ河川公園　遊具　4基・園路灯　2基　12,265 ○野田中央公園　一般施設　1基　8,998 ○緑の基本計画策定業務委託　6,700				

8款　土　木　費　　4項　都　市　計　画　費　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
都市再開発事業費（市街地整備課）	1　福島駅東口地区市街地再開発事業費	196,000	国　98,000 県　49,000	基金繰入金　49,000	－
	（説　明） 社会資本整備総合交付金事業を活用し、民間事業者への支援を行い、福島駅東口地区市街地再開発事業を推進するため、基本設計を実施した。				
	2　福島駅東口地区市街地再開発事業資金貸付金	540,000	－	債　526,500	13,500
	（説　明） 国の都市開発資金貸付制度を活用し、民間事業者へ無利子の資金貸付を行い、福島駅東口地区市街地再開発事業を推進した。				

8款　土　木　費　　5項　住　　宅　　費

（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
市営住宅管理費（住宅政策課）	1　市営団地移転支援事業費	76,517	国　6,987	－	69,530
	（説　明） 耐震性が不足し、設備の老朽化も進み住宅としての機能が低下している市営住宅の用途廃止に向け、入居68世帯の移転を支援した。 ○笹谷団地　25世帯 ○陳光団地1号棟　21世帯 ○荒井団地　10世帯 ○入江町特目団地　5世帯 ○蓬莱第二団地7、8、10号棟（繰越明許費）　6世帯 ○中央団地8号棟（繰越明許費）　1世帯				
	2　ストック総合改善事業費	348,242	国　110,938	債　237,300	4
	（説　明） 市営住宅ストックの長寿命化、安全性向上、居住性向上を図るため、改修工事等を行った。 ○蓬莱団地5・11号棟屋上防水改修工事　22,220 ○蓬莱第四団地24・25号棟給水方式変更工事　63,360 ○大下・砂入団地バリアフリー対応手摺設置工事　3,014 ○由添団地1～4号棟給水方式変更工事　129,437 ○清水が丘団地ほか1団地市営住宅共用灯照明器具LED化工事　4,972 ○蓬莱第一団地ほか1団地市営住宅共用灯照明器具LED化工事　4,543 ○野田町団地共用灯照明器具LED化工事　1,995 ○先達団地1・2号棟外壁改修等工事　110,407 ○先達団地1～6号棟給水方式変更工事設計業務委託　3,091 ○南沢又団地2号棟給水方式変更工事設計業務委託　3,377 ○所窪団地ほかアスベスト調査業務委託　913 ○蓬莱第二団地ほかアスベスト調査業務委託　913				

9款　消　防　費　　1項　消　　防　　費

（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
常備消防費（消防本部）	1　救急救命士養成研修費	5,387	県　965	－	4,422
	（説　明） 10隊の救急隊全てを救急救命士運用隊として安定稼働するため、救急救命士を養成した。 ○養成者数　2人				
消防施設費（消防本部）	1　常備消防自動車等整備費	85,919	－	債　74,200	11,719
	（説　明） 消防署の消防車両を更新し、災害対応力の充実を図った。 ○化学消防ポンプ自動車　1台				
	2　高規格救急自動車整備費	39,997	－	債　30,800	9,197
	（説　明） 消防署の高規格救急自動車を更新し、救急業務の充実を図った。 ○高規格救急自動車　1台				
	3　消火栓設置事業費	14,047	－	債　12,600	1,447
	（説　明） 水道配水管の拡張及び布設替等に併せて消火栓を設置し、消防水利の確保を図った。 ○新　設　5基　10,166 ○設置替　3基　3,881				

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
	4 消防本部・福島消防署整備事業費	206,419	－	債 197,700	8,719

（説 明）
耐震基準を満たしていない消防本部・福島消防署庁舎を、市の中心的な防災拠点施設として整備を進めるため、実施設計等を行った。
○消防本部・福島消防署整備事業　実施設計（6～7年度継続事業）　175,560

年度	事業費	左の財源内訳 特定財源 国県支出金	特定財源 地方債	特定財源 その他	一般財源
6	55,440	－	54,700	－	740
7	175,560	－	173,000	－	2,560
計	231,000	－	227,700	－	3,300

○土地購入　9,954
○建物移転補償　11,067
○飲料水兼用耐震貯水槽給水管布設工事等負担金　9,838

	5 高機能消防指令センター整備事業費	11,198	－	債 11,100	98

（説 明）
消防本部・福島消防署移転に併せ、高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線を整備するため、設備整備設計を行った。

	6 庁舎等改修事業費	104,293	－	－	104,293

（説 明）
消防庁舎施設の設備維持管理・職場環境の保持、老朽化した施設の長期使用に伴う施設整備等を行った。
○福島南消防署空調設備改修工事　98,378
○福島南消防署信夫分署空調設備改修工事　4,577
○消防訓練センター施設修繕　1,338

9款 消 防 費　　1項 消 防 費　（単位 千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
	7 非常備消防自動車等整備費	32,322	－	債 21,800	10,522

（説 明）
消防団車両等を更新し、地域防災力の充実強化を図った。
○消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型）　1台　22,921
○小型動力ポンプ軽積載車　1台　6,761
○小型動力ポンプ（B3級）　1台　2,640

災害対策費（危機管理室）	1 総合防災情報システム管理費	22,945	－	雑入 29	22,916

（説 明）
気象情報収集の強化、市民への情報発信の多重化、被害状況の一体的管理を目的に整備した「災害対策オペレーションシステム」を運用することで、初動対応の迅速化・災害対策の強化を図った。

	2 ペット同伴避難所開設運営費	318	－	－	318

（説 明）
飼い主とペットが同じスペースで過ごすことができる「ペット同伴避難所」の開設に必要な物品等を整備した。

	3 防災意識醸成・危機対応力向上事業費	130	－	－	130

（説 明）
様々な世代が気軽に楽しみながら防災について学ぶ「ぼうさい体験パッケージ」を、「ふくしま防災推進ネットワーク」のメンバーと連携を図りながら、学校や企業、地域において実施した。
○ぼうさい体験パッケージ
・小中学校14校、企業3社、地域7団体

9款　消　防　費　　1項　消　　防　　費　　（単位　千円）

目	事　業　名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
	4　ふくしま防災体験フェア事業費	1,000	－	－	1,000
	（説　明） 災害協定締結企業等と連携し、街なかで災害の疑似体験や防災に関する展示を行う「ふくしま防災体験フェア」を開催することで、市民が楽しく防災に触れて学べる機会の創出と防災意識の醸成を図った。				
	5　地域防災力強化事業費	4,975	県　3,581	－	1,394
	（説　明） 自分たちの地域は自分たちで守るという共助の仕組みづくりに向け、市民自らが取り組む「地区防災マップ」及び「地区防災計画」の作成を支援した。 ○作成地区 ・地区防災マップ　中央地区（第1、2、3学区）、荒井東地区、大笹生地区、松川地区 ・地区防災計画　岡部・北部地区、上名倉地区、庄野地区、飯野明治地区、瀬上地区				
	6　被災者支援システム構築費	9,108	－	債　7,800	1,308
	（説　明） 被災者の早期生活再建及び大規模災害時における職員の負担軽減を図るため、災害時の罹災証明申請の受理から被災者支援に関する進捗状況までを一元管理できるシステムを構築し、導入した。				

10款　教　育　費　　1項　教　育　総　務　費　　（単位　千円）

目	事　業　名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
事務局費（教育研修課）	1　特別支援教育推進事業費	235,441	－	雑入　1,108	234,333
	（説　明） 市立義務教育諸学校及び特別支援学校に在籍する障がいのある児童生徒に対し、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導を行うため特別支援教育指導員を委嘱し、各学校の指導・助言等を実施した。 また、特に人的支援を要する市立義務教育諸学校及び特別支援学校に特別支援教育協力員・支援員を配置し、特別支援教育を推進した。 ○協力員数　47人 ○支援員数　41人 ○配置校　46校				
（学校教育課）	2　幼・保・小・中学校連接推進事業費	633	－	－	633
	（説　明） 幼稚園、保育所、認定こども園、義務教育諸学校の学びのつながりを重視した交流学習を推進した。 また、自らの学びをマネジメントできる力の育成のため、学校区ごとに子どもの実態の情報交換を行い、家庭学習やメディアコントロールについての共通実践を行った。 さらに「小1プロブレム」「中1ギャップ」の軽減を目指し、中・義務教育学校区の各校・園等が、非認知能力育成の視点で連携するため、異校種一日研修を実施して、子どもの関わり方についての相互理解を図った。 ○幼稚園、保育所、認定こども園、義務教育諸学校等の教員・保育士　64回 ○保育・授業参観等による教職員の保育・授業研究　73回 ○異校種1日研修の参加人数　101人 ○異年齢の子ども同士の交流　362回 ○保護者や地域との交流　73回				
	3　指導力向上サポート事業費	969	－	－	969
	（説　明） 本市教員の数学科における授業力向上を図るため、中学校に授業改善サポーターを配置し、授業づくりに関わる助言や教材準備の補助、示範授業等の支援、研修会の開催を行った。 また、学力向上担当指導主事とＩＣＴ担当指導主事を各学校に派遣し、授業実践や情報発信を行った。 さらに、学校訪問を行わない学校を対象に、授業研究会を開催し「子どもを主語にした授業」の在り方について周知を図った。 ○授業改善サポーター　1人 ○学力向上担当指導主事　1人 ○ＩＣＴ担当指導主事　1人				

10款　教　育　費　　1項　教　育　総　務　費　　（単位　千円）

目	事　業　名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	その他特定収入	一般財源
（教育研修課）	4　ふくしま・ふれあい・夢ぷらん事業費	3,781	－	－	3,781
	（説　明） 各校において、学校と地域が一体となり、体験的・探究的な学習を展開した。地域の「人・もの・こと」との関わりを通して、児童が自ら学び、考え、判断する活動を計画・実践した。 ○テーマ ・福島市の環境　・福島市の伝統・文化　・福島市の福祉・健康　・福島市の国際理解 ・福島市の人々の暮らし　・福島市のものづくり　・福島市のキャリア教育　・福島市の食育 ・福島市の安全教育 ○実施校　41校				
	5　中学生ドリームアップ事業費	6,694	－	－	6,694
	（説　明） 中学2年生と義務教育学校7・8年を対象として職場体験活動を最大5日間の日程で実施した。職場体験活動に向けて職業について学習する事前指導や、職場体験活動実施後に実際の進路を考えるための講師招聘等を行い、3年間を通した系統的な取組を実施した。 ○実施校　20校（職場体験活動は、天神スクールを除く19校）				
	6　ＩＣＴ教育フューチャービジョン推進事業費	623,271	－	雑入　16	623,255
	（説　明） ＩＣＴ活用による学習活動の充実と児童生徒の情報活用能力を育成するため、学校のＩＣＴ環境整備や、義務教育諸学校・特別支援学校へＩＣＴ支援員を定期的に派遣した。				

10款　教　育　費　　1項　教　育　総　務　費　　（単位　千円）

目	事　業　名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	その他特定収入	一般財源
（教育総務課）	7　福島型個性をのばす教育推進事業費	3,395	－	雑入　3	3,392
	（説　明） 可能性に挑戦する子どもを育成するため、本市ゆかりの著名人や地元企業と連携してスポーツや芸術などで特色ある教育を実施した。 ○小学生編 ・「地域連携教室　ふくしまっ子アカデミー　夢・希望・未来」 ロボットをテーマとして、地元企業等を講師に実施　4回、延べ82人参加 ○中学校部活動編 ・「プライム　サッカー教室」　福島ユナイテッドＦＣをコーチに実施　2校、延べ64回 ・「プレミア　美術教室」　日本画家の齋正機氏を講師に実施　5回				
（教育研修課）	8　校務情報ネットワークシステム運用費	218,873	－	－	218,873
	（説　明） 「統合型校務支援システム」を安定運用し、児童生徒情報を一元管理するとともに、校務事務の効率化を図った。				
	9　学校保護者間連絡アプリ運用事業費	2,573	－	－	2,573
	（説　明） 保護者から学校への欠席連絡や学校から保護者への通知をデジタル化できるアプリケーションを導入し、コミュニケーションの効率化を図った。				

目	事　業　名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
	10 子どもハートサポート事業費	5,661	－	－	5,661
	（説　明） 児童の心のケアをはじめ、不登校やいじめ、問題行動等の未然防止、早期発見及び即時対応を図るため、県のスクールカウンセラー等派遣事業におけるスクールカウンセラー未配置の小学校に相談員を配置し、個に応じた教育相談を実施した。 ○相談員数　6人 ○配置校　19校				
	11 総合教育センター費	185,792	国　2,541	雑入　9	183,242
	（説　明） 教職員研修、教育に関する専門的な調査研究を実施するとともに、教育相談、まなびの支援連携室「ふれあい教室」、特別支援教育及び就学指導等の推進を図った。 ○職能研修　12講座　計18回　745人 ○専門研修　19講座　計28回　1,198人 ○特別研修　2研修　2講座　延べ 65人 ○その他の研修（自主研修セミナー　計7回　延べ63人、スクールアシスタント派遣　6校　7回、土曜自主研修　3団体　163人） ○調査・研究事業（読解力の向上に関する調査研究） ○教育相談（来所相談延べ1,444回、電話相談延べ3,552回、訪問相談延べ574回） ○まなびの支援連携室「ふれあい教室」（対象児童生徒1組4人、2組36人、120日） ○早期教育相談　133人 ○定例教育相談　計66組　延べ264人 ○防災・放射線教育　1授業研究会　1回　34人				
	12 心のケア推進事業費（復興事業費）	19,180	県　17,907	雑入　42	1,231
	（説　明） スクールカウンセラー3人を配置し、東日本大震災及び原子力災害を受け、様々なストレスを抱えている児童生徒、保護者及び教職員の心のケアを行った。				

10款　教　育　費　　1項　教　育　総　務　費　（単位　千円）

目	事　業　名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
	13 スクールソーシャルワーカー派遣事業費（復興事業費）	8,759	国　1,069 県　5,018	－	2,672
	（説　明） スクールソーシャルワーカー3人を配置し、東日本大震災により被災した児童生徒及び保護者の心のケア並びに家庭支援を行った。				

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
学校管理費（学校教育課）	1　学校図書館図書整備費	8,186	－	－	8,186

（説　明）
児童の読書意欲の向上に向け、図書充足率100%を維持しながら、各校の実情に応じた図書の更新を計画的に実施した。
○購入冊数　4,272冊

目	事業名	事業費（決算額）	国県支出金	その他特定収入	一般財源
学校建設費（教育施設管理課）	1　学校施設リフレッシュ事業費	141,865	国　7,934	債　94,500	39,431

（説　明）
屋上防水及び外壁改修を実施し、コンクリートの躯体劣化防止を図った。
○福島第二小学校北校舎外壁等改修工事（7～8年度継続事業）　24,649

年度	事業費	左の財源内訳 特定財源 国県支出金	地方債	その他	一般財源
7	24,649	6,031	15,500	－	3,118
8	133,851	46,802	79,500	－	7,549
計	158,500	52,833	95,000	－	10,667

○三河台小学校南校舎外壁等改修工事（7～8年度継続事業）　39,120

年度	事業費	左の財源内訳 特定財源 国県支出金	地方債	その他	一般財源
7	39,120	1,903	25,400	－	11,817
8	226,880	86,763	134,100	－	6,017
計	266,000	88,666	159,500	－	17,834

○アスベスト含有分析調査業務委託（庭塚小）　436
○庭塚小学校校舎他外壁等改修工事　46,200
○杉妻小学校防火シャッター改修等工事　27,500
○杉妻小学校自動火災報知設備改修工事　1,980
○杉妻小学校校内放送設備改修工事　1,980

10款　教　育　費　　2項　小　学　校　費　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	国県支出金	その他特定収入	一般財源
	2　大森小学校特別教室棟更新事業費	6,839	－	－	6,839

（説　明）
教室数の不足に対応するため設置した仮設プレハブ校舎の劣化に伴い、既存校舎へ理科室を整備し、学習環境の向上を図った。
○理科室他産廃運搬処分業務委託　315
○理科室移設に伴う流し台設置工事　1,588
○理科室移設に伴う換気扇新設工事　228
○既存校舎理科室整備に伴う備品購入　4,708

目	事業名	事業費（決算額）	国県支出金	その他特定収入	一般財源
	3　学校体育館エアコン整備事業費	334,559	－	債　330,500	4,059

（説　明）
災害警戒レベル3の小学校体育館へ大型スポットエアコンを設置し、避難所開設時の環境改善を図った。
○学校体育館エアコン整備事業設計業務委託　16件　34,971
○学校体育館エアコン設置工事　12校　295,639
○エアコン設置工事電源引込に伴う工事負担金　8件　3,949

10款　教　育　費　　2項　小　学　校　費　　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
	4　施設改修事業費	493,307	国　1,091	基金繰入金 7,738 債　180,700	303,778

（説　明）
児童の学習環境改善のため施設改修等の事業を行った。
○福島第二小学校エレベーター設置工事（7～8年度継続事業）　16,711

年度	事業費	左の財源内訳 特定財源 国県支出金	地方債	その他	一般財源
7	16,711	1,091	1,900	－	13,720
8	133,289	48,909	88,100	－	△3,720
計	150,000	50,000	90,000	－	10,000

○照明ＬＥＤ化改修工事設計業務委託　25校　53,350
○上記以外の業務委託　4件　4,952
○特別教室プレハブ賃貸借（矢野目小、大森小）　11,163
○渡利小学校給水管改修工事　146,300
○北沢又小学校屋内消火栓配管改修工事　28,347
○清水小学校プール改修工事　27,432
○教育施設外壁落下緊急対策工事　14件　96,834
○上記以外の施設改修工事　62件　108,219

	5　矢野目小学校特別教室棟更新事業費（繰越明許費）	141,608	－	基金繰入金 35,408 債　106,200	－

（説　明）
老朽化した特別教室棟を更新するため、公募型プロポーザルにて整備した特別教室棟を購入し、児童の学びの環境の充実を図った。

10款　教　育　費　　3項　中　学　校　費　　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
学校管理費（学校教育課）	1　学校図書館図書整備費	5,320	－	－	5,320

（説　明）
生徒の読書意欲の向上に向け、図書充足率100%となるよう、各校の実情に応じた図書の更新を計画的に実施した。
○購入冊数　3,217冊

学校建設費（教育施設管理課）	1　学校施設リフレッシュ事業費	73,619	国　13,239	債　39,000	21,380

（説　明）
屋上防水及び外壁改修を実施し、コンクリートの躯体劣化防止を図った。
○信陵中学校南校舎外壁等改修工事（7～8年度継続事業）　52,100

年度	事業費	左の財源内訳 特定財源 国県支出金	地方債	その他	一般財源
7	52,100	8,292	25,700	－	18,108
8	307,900	111,708	190,300	－	5,892
計	360,000	120,000	216,000	－	24,000

○平野中学校北校舎外壁等改修工事（7～8年度継続事業）　21,020

年度	事業費	左の財源内訳 特定財源 国県支出金	地方債	その他	一般財源
7	21,020	4,947	13,300	－	2,773
8	128,980	45,053	76,700	－	7,227
計	150,000	50,000	90,000	－	10,000

○アスベスト含有分析調査業務委託（岳陽中）　499

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	その他特定収入	一般財源
	2　学校体育館エアコン整備事業費	89,644	－	債　88,600	1,044

（説　明）
　災害警戒レベル3の中学校体育館へ大型スポットエアコンを設置し、避難所開設時の環境改善を図った。
○学校体育館エアコン整備事業設計業務委託　7件　14,331
○学校体育館エアコン設置工事　5校　74,309
○エアコン設置工事電源引込に伴う工事負担金　2件　1,004

	3　施設改修事業費	149,345	－	債　14,000	135,345

（説　明）
　生徒の学習環境改善のため施設改修等の事業を行った。
○照明ＬＥＤ化改修工事設計業務委託　5校　13,530
○上記以外の業務委託　2件　3,132
○福島第一中学校プール循環ろ過装置改修工事　20,900
○教育施設外壁落下緊急対策工事　10件　73,571
○上記以外の施設改修工事　35件　38,211

	4　松陵義務教育学校校舎等改築事業費	7,260	－	－	7,260

（説　明）
　旧松陵中学校校舎の解体工事に着手した。
　また、松陵義務教育学校の校庭を整備するため、設計業務を委託した。
○旧松陵中学校校舎解体工事（7～8年度継続事業）

年度	事業費	左の財源内訳 特定財源 国県支出金	地方債	その他	一般財源
7	－	－	－	－	－
8	450,000	－	405,000	－	45,000
計	450,000	－	405,000	－	45,000

○松陵義務教育学校　校庭整備工事変更設計業務委託　7,260

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	その他特定収入	一般財源
幼稚園費（幼保支援課）	1　市立幼稚園未就園児預かり保育事業費	41	－	－	41

（説　明）
　保育所等を利用していない未就園児を市立幼稚園で定期的に預かり、他のこども達と過ごすことにより、対象児童の発達を促すとともに保護者の負担軽減を図った。
○利用人数　延べ292人

	2　特色ある幼児教育・保育推進事業費	6,235	－	－	6,235

（説　明）
　こどもたちの豊かな創造性や感性を育むため、個性豊かで特色ある幼児教育・保育プロジェクトを実施する私立幼稚園、認可保育施設に対して補助金を交付した。
　また、プロジェクトを市内外に広くＰＲするため、ＰＲ動画を作成しＳＮＳで広告配信するとともに、市内の子育て世帯へ配布するための広報誌を作成した。
○補助件数　11件
○動画視聴回数　9,424回
○広報誌作成　3,300部

（幼保企画課）	3　私立幼稚園教育振興補助金	27,130	－	－	27,130

（説　明）
　私学教育の振興を図るため私立幼稚園に対して補助金を交付し、円滑な事業運営を支援するとともに、教職員の指導力向上のための研修会に対し支援を行った。
○運営費補助金　26,840
○教職員研修事業補助金　190
○障がい児受入施設等補助金　100

	4　幼稚園利用者実費負担軽減事業費補助金	2,757	国　918 県　918	－	921

（説　明）
　子ども・子育て支援新制度に移行していない私立幼稚園を利用する年収360万円未満相当世帯や多子世帯の保護者に対し副食材料費の一部を補助し、保護者の負担軽減を図った。

10款　教　育　費　　6項　社　会　教　育　費　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	その他特定収入	一般財源
社会教育振興費（生涯学習課）	1　海外チャレンジ応援事業費	740	－	－	740
	（説　明） 豊かな国際感覚を生かして世界に羽ばたく人材の育成を図ることを目的として、自らの夢や目標に向かって海外での研修等にチャレンジする中学生及び高校生等の自主的な学びを支援するため、その費用の一部を助成した。 ○補助金交付人数 ・高校生　3人				
生涯学習振興費（生涯学習課）	1　二十歳の集い開催費	4,577	－	－	4,577
	（説　明） 式典（1部）及び企画委員による記念事業(2部）からなる二十歳の集いを開催し、自立した社会の一員としての自覚を促した。 ○開催月日　8年1月11日 ○内　容　式典、企画委員による記念事業 ○参加者数　1,942人/2,514人				
	2　地域と学校の共創推進事業費	1,115	国　371	－	744
	（説　明） 学校・家庭・地域が連携協働し、地域全体で未来を担う子ども達の成長を支え、地域教育力の向上につなげた。 ○学校支援活動、地域学校協働活動 ・実施校数　小学校・義務教育学校　41校/41校　中学校・特別支援学校　19校/19校 ○放課後子ども教室 ・たつこ放課後クラブ（立子山小学校）				

10款　教　育　費　　6項　社　会　教　育　費　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	その他特定収入	一般財源
文化振興費（文化振興課）	1　古関裕而を活かしたまちづくり事業費	41,976	－	基金繰入金 17,496	24,480
	（説　明） 古関裕而氏と古関メロディーを活かしたまちづくりを推進するため、各種事業を実施した。 ○「第三回古関裕而作曲コンクール」の開催 ・募集期間　7年2月28日～8月18日 ・応募数　91曲 ・一次審査　10月17日（91曲中8曲選考） ・本選会　8年1月25日 ・会　場　ふくしん夢の音楽堂（音楽堂） ○「古関裕而記念音楽祭2025」の開催 ・開催月日　8月11日 ・会　場　ふくしん夢の音楽堂（音楽堂） ・来場者数　940人 ○「福島日産×EV GARDEN　ふくしままちなか音楽祭2025」の開催 ・開催月日　10月25日～26日 ・会　場　まちなか広場、福島駅東口駅前広場・地下通路、新浜公園ほか				
	2　「ふくしまチェンバー・オーケストラ」活動支援事業費	13,522	－	基金繰入金 1,000	12,522
	（説　明） 福島ゆかりのプロの音楽家により構成される「古関裕而のまち　ふくしまチェンバー・オーケストラ」のコンサート開催を支援した。 ○ふくしまチェンバー・オーケストラ公演 ・開催月日　10月26日、11月16日、8年2月22日 ・会　場　ふくしん夢の音楽堂（音楽堂） ・来場者数　延べ948人				

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	その他特定収入	一般財源
学習センター費（生涯学習課）（中央学習センター）	1　学習センター運営費	219,683	－	雑入　3,475	216,208

（説　明）
　社会教育活動の中心施設として、生活に役立つ知識・技能の習得と文化的教養の向上に寄与するため、市民の生涯にわたる各領域ごとの事業を実施した。
　また、自主グループの育成、ボランティア活動の推進を通し、コミュニティづくりを促進するとともに、生涯学習のさらなる充実を図るため、学習活動の支援や場所の提供、学習情報の提供、学習相談、図書貸出し等を行った。
○学習センター事業実施状況・利用状況（16館6分館）

区分	主催事業	団体等施設利用	計
回数（回）	2,646	51,452	54,098
人数（人）	175,539	876,775	1,052,314

○生涯学習アップデート事業
・ふくしまマスターズ大学講演会（全1回）　参加者数　440人
・ふくしま市民大学（全2回）　参加者数　延べ135人
・ふくしまマスターズ大学同期生会結成講座【シニア講座】（全6回）　参加者数　延べ75人

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	その他特定収入	一般財源
文化施設費（文化振興課）	1　旧広瀬座再整備事業費	664,948	国　308,018	基金繰入金 42,440 債　379,800	△65,310

（説　明）
　民家園内にある国指定重要文化財である旧広瀬座の再整備を行った。
○旧広瀬座再整備事業（5～7年度継続事業）　661,283

年度	事業費	左の財源内訳 特定財源 国県支出金	地方債	その他	一般財源
5	28,770	12,975	14,100	1,695	－
6	146,120	－	69,400	7,843	68,877
7	661,283	307,920	379,800	42,440	△68,877
計	836,174	320,895	463,300	51,979	－

○動力消防ポンプ購入　ほか　3,664

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	その他特定収入	一般財源
図書館費（図書館）	1　図書館運営費	293,961	－	雑入　81	293,880

（説　明）
　本館、分館（西口・子どもライブラリー）及び各学習センター図書室の資料充実とインターネット予約機能等を備えたサービスにより、図書館サービスの充実と読書活動の推進を図った。
　また、各種講座等を開催し、読書意欲の喚起に努め、市民の教養・文化の向上を図った。
○利用状況及び蔵書数（8年3月31日現在）

	利用者数(人)	貸出冊数(冊)	蔵書数(冊)
本館	127,945	312,945	430,348
移動図書館	7,885	20,686	29,569
西口ライブラリー	16,910	44,361	35,645
子どもライブラリー	9,335	37,532	35,541
蓬莱学習センター	16,787	59,966	43,194
清水学習センター	15,440	55,897	49,340
もちずり学習センター	9,855	35,331	33,386
北信学習センター	15,427	56,651	34,796
飯坂学習センター	13,817	46,150	35,973
吾妻学習センター	17,399	63,225	51,506
松川学習センター	9,736	40,029	29,701
その他の学習センター（9館）	40,157	120,926	90,258
計	300,693	893,699	899,257

※電子書籍を除く

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
	2　子どもの読書活動推進事業費	1,164	－	－	1,164

（説　明）
「10分読書運動」「ふくしま読書の日」を柱とした読書活動を推進するとともに、子どもの発達段階に応じた読書支援を行った。
中学生、高校生の読書意欲の向上のため、知的書評合戦「ビブリオバトル」を開催した。
○ブックスタート事業（0～2歳児）
・実施内容　「ブックスタートパック」プレゼント（申込制）
・配布人数　707人
○ブックステップ事業（3～4歳児）
・実施内容　「ブックステップパック」プレゼント（申込制）
・配布人数　335人
○学校支援用図書セット貸出事業
・貸出用図書購入　282冊
・貸出セット数　316セット
○ビブリオバトル開催
・開催月日　8月3日
・参加者数　発表者　12人（中学生7人、高校生5人）
・観覧者数　73人

	3　学校図書館支援事業費	54,412	－	雑入　252	54,160

（説　明）
学校司書を小・中学校図書館に配置し、児童生徒の読書活動や学習への支援を行い、学校図書館を活用した教育の充実を図った。
また、学校図書館指導員による学校司書への指導・支援や、図書館・学校・市教育委員会事務局の3者の連携推進により学校図書館の機能強化を行った。
○学校司書　20人
○配置校　60校（全校配置）
○学校図書館指導員　1人

	4　電子書籍事業費	4,846	－	－	4,846

（説　明）
24時間いつでも、どこでも、手軽に使用できる電子図書館を運用した。
また、電子書籍の整備を行い、市民の多様なライフスタイルに合わせた読書環境を提供した。
○電子書籍タイトル数　11,539冊（8年3月31日現在）
○貸出冊数　20,519冊

10款　教　育　費　　6項　社　会　教　育　費　　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
こむこむ館費（生涯学習課）	1　こむこむ館屋根等改修事業費	72,757	－	債　65,100	7,657

（説　明）
雨漏りの解消等を図るため、屋根改修工事を行った。
○こむこむ館屋根等改修工事（6～8年度継続事業）　72,440

年度	事業費	左の財源内訳 特定財源 国県支出金	地方債	その他	一般財源
6	40,270	－	36,200	－	4,070
7	72,440	－	65,100	－	7,340
8	720,290	－	648,400	－	71,890
計	833,000	－	749,700	－	83,300

○その他　317

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	その他特定収入	一般財源
体育振興費（スポーツ振興課）	1　ふくしまシティハーフマラソン事業費	55,000	－	－	55,000
	（説　明） 本市の魅力を全国に発信し、市民のスポーツ活動推進とともに、スポーツによる新たなにぎわいや交流人口の拡大、さらには中心市街地をはじめとする地域経済の活性化、共生社会の実現を図るため、ふくしまシティハーフマラソンを開催した。 〇ふくしまシティハーフマラソン2025 ・開催月日　5月18日 ・会　　場　誠電社WINDYスタジアム（信夫ケ丘競技場） ・種　　目　ハーフマラソン、10km、2kmペア、1kmチャレンジ車いす ・参加者　4,653人				
	2　スポーツホームタウンにぎわい創出事業費	10,382	－	－	10,382
	（説　明） 「福島ユナイテッドＦＣ」と連携し、交流人口の拡大や中心市街地の活性化につながる交流大会や事業等を実施した。 また、こむこむ館わいわいホール等でパブリックビューイングを実施し、スポーツを「みる」機会を提供した。				
保健給食費（学校教育課）	1　水泳授業民間プール施設等利用事業費	6,609	－	－	6,609
	（説　明） 学校プール施設の老朽化に伴い、学校プールの使用を中止し民間プール施設や市営プール施設等を利用して水泳授業を実施することにより、安全な学習環境の確保や水質管理等による学校の負担軽減を図った。 小規模校において困難である複数の指導者による水泳授業を委託先スタッフや他校との合同授業を行うことで、安全面における指導体制の充実を図った。 〇実施校　11校（福島四小、余目小、大笹生小、松陵義務教育学校（後期課程）、森合小、立子山小、佐倉小、佐原小、水保小、平田小、平石小）				

10款　教　育　費　　7項　保　健　体　育　費　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	その他特定収入	一般財源
（こども政策課）（教育施設管理課）	2　部活動指導体制整備事業費	10,569	県　6,538	雑入　15	4,016
	（説　明） 教員の長時間労働を改善し、教材研究や生徒と向き合う時間等を確保できる環境を整えていくため、福島市部活動指導員設置要綱により部活動指導員の設置を行った。 〇配置人数　17人 （岳陽中学校・渡利中学校：各3人、西信中学校・野田中学校：各2人、福島第一中学校・清水中学校・西根中学校・信夫中学校・吾妻中学校・飯野中学校・松陵義務教育学校：各1人）				
	3　福島型給食推進事業費	288,294	－	－	288,294
	（説　明） 子育て支援の一環として学校給食1食あたり小学生175円、中学生180円（給食費の約45%）の保護者負担軽減を図るとともに、学校給食に本市産農産物の使用拡大を図り、地産地消の取組を実施した。				

		実施校数（校）	児童生徒数（人）
市立	小学校	20	6,523
	中学校	4	1,332
	特別支援学校	1	94
小計		25	7,949
私立等	小学校	2	676
	特別支援学校	2	138
小計		4	814
計		29	8,763

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
（教育施設管理課）	4　新学校給食センター整備事業費	5,411,893	国　537,274	債　4,329,500	545,119
	（説　明） 老朽化した西部学校給食センター及び北部学校給食センターの統廃合及び栄養士未配置の単独給食実施校12校をセンター方式に移行するため、「設計・建設・運営・維持管理」を民間事業者が一貫して実施するＰＦＩ手法を導入し、より安全で安心なおいしい学校給食を安定的に提供することを目的とした中央学校給食センターを整備した。				
	5　施設改修事業費	52,222	－	債　38,800	13,422
	（説　明） 給食センターからの給食配送を受け入れるために配膳室整備を行った。 ○単独給食実施校配膳室整備事業（6～7年度継続事業）　8,532				

年度	事業費	左の財源内訳 特定財源 国県支出金	地方債	その他	一般財源
6	13,279	－	9,900	－	3,379
7	8,532	－	6,300	－	2,232
計	21,811	－	16,200	－	5,611

○単独給食実施校配膳室第2期整備事業（7～8年度継続事業）　37,294

年度	事業費	左の財源内訳 特定財源 国県支出金	地方債	その他	一般財源
7	37,294	－	27,900	－	9,394
8	32,006	－	23,900	－	8,106
計	69,300	－	51,800	－	17,500

○清明小学校配膳室外部改修工事　ほか　6,397

10款　教　育　費　　7項　保　健　体　育　費　（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳 国県支出金	決算額の財源内訳 その他特定収入	決算額の財源内訳 一般財源
	6　学校給食まるごと検査事業費（復興事業費）	41,064	－	－	41,064
	（説　明） 学校給食で使用する食材の放射性物質モニタリング検査を行い、児童生徒に安全で安心な学校給食を提供した。 ○学校給食センター　4ヵ所 ○単独給食実施校　23校				
学校給食センター費（教育施設管理課）	1　福島型給食推進事業費	316,393	－	－	316,393
	（説　明） 子育て支援の一環として学校給食1食あたり小学校175円、中学校180円（給食費の約45%）の保護者負担軽減を図るとともに、学校給食に本市産農産物の使用拡大を図り、地産地消の取組を実施した。				

		実施校数（校）	児童生徒数（人）
市立	小学校	20	4,638
	中学校	14	4,250
	義務教育学校	1	807
計		35	9,695

11款　災害復旧費　　1項　原子力災害復旧費

（単位　千円）

目	事業名	事業費（決算額）	決算額の財源内訳		
			国県支出金	その他特定収入	一般財源
原子力災害復旧費（環境衛生課）	1　除染事業費	208,444	県　208,444	－	－

（説　明）

除去土壌の搬出を行い現場保管の解消に努めるとともに、仮置場の原状回復工事等を実施し返還を進め、令和8年2月にすべての仮置場の返還が完了した。

○輸送等関連事業費　17,675

・現場保管の解消　6件

残箇所数　141件（8年3月31日現在）

○仮置場関連事業費　160,938

・仮置場の返還（原状回復）状況（8年3月31日現在）

区分	個所数	返還完了年度							
		1	2	3	4	5	6	7	計
仮置場	34	1	6	4	6	11	4	2	34
仮々置場	7	0	2	0	4	1	0	0	7
計	41	1	8	4	10	12	4	2	41

○事　務　費　29,832